



府中国際交流サロン  
FUCHU INTERNATIONAL SALON

# くろするろ〜ど

がつしんねんごう だい 278 号  
2023/1月新年号 第278号

かい ほう し  
会報誌

ふちゅうこくさいこうりゅう 府中国際交流サロンは、府中に住む  
にほんじん がいこくじん なかよ たくす あ  
日本人と外国人が、仲良く助け合っ  
たの せいかつ ねが かつどう  
楽しく生活していくことを願って、活動を  
つづ 続けています。

★★★★★crossroad★★★★★crossroad★★★★★



★★★★★crossroad★★★★★crossroad★★★★★

## 〜サロン月間カレンダー1月〜

## 「新年を迎えて」

### ■日本語学習会

日時：1月6日（金）～1月30日（月）  
月（午前・午後）水（午後）金（午後・夜）  
場所：サロン3階 会議室

じっこういんかい 実行委員会  
わだ やすひろ 和田 泰弘

明けましておめでとうございます。

コロナ感染予防の規制で、晴々とした気持ちでお正月を迎えるということが儘ならないこの3年間でしたが、みなさまは、今年はどうにお正月を過ごされたでしょうか。

サロンもこの3年、活動が思うように進みませんでした。昨年、日本語学習会をはじめ、日本語教授法研修会、勉強会、生け花教室、ダンス教室、バーベキューの集い、国際ふれあい会等の活動を実施することができました。徐々にではありますがこれまでと同じ日常を取り戻しつつあります。

今年は、「府中国際交流サロン」にとって大きな節目となる、「フチュール」への移転が控えています。長年慣れ親しんだ北第2庁舎での活動も2月24日（金）を最後に、3月12日（日）に移転作業をし、4月7日（金）からは「フチュール」で新たに活動をスタートします。

日本語学習会、文化交流活動、生活情報支援活動がこれまで以上に活発になり、「府中国際交流サロン」が一層豊かな交流の場となるよう、皆さま方のご協力をいただきたいと思います。そして、今年が皆さまにとって、またサロンにとってよりよい年になるよう願っております。

### ■実行委員会～移転準備委員会

日時：1月11日（水）午前10時～昼12時  
場所：サロン学習室

### ■文化交流部会生け花教室

日時：1月6日（金）午前10時～昼12時  
場所：サロン学習室  
費用：お花代500円

### ■文化交流部会ダンス教室

日時：1月の毎水曜日・午後1時半～3時  
場所：サロン託児室（4日は休み）

### ■新年サロン交流会

日時：1月21日（土）午後1時～4時  
詳細は「みんなの広場」をご覧ください。

\*以上の件について、詳しいことはサロン事務局で聞いてください。



# 世界の文化

## 「国際ふれあい会～私のふるさとを語る」

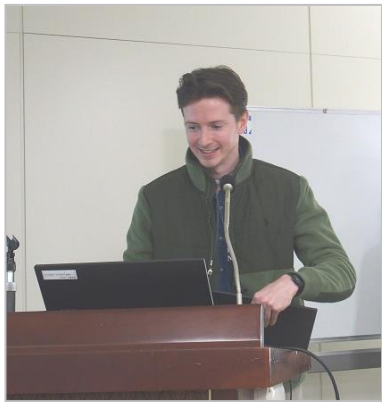
昨年11月19日（土）に「国際ふれあい会～私のふるさとを語る」が開催されました。今月から5回にわたり、発表された5名の方々のスピーチと、帰国のため参加できなかったシュナイダレイト レベッカ アイリーンさんからのメッセージを紹介していきます。

### 第1回

#### 「私が音楽を愛する理由」

ロウ ショーン マシュー（イギリス）

初めて音楽を聴いたのは、子供の時に母が私に歌ってくれたことです。母が歌っているのを聞いた時の心地よい気持ちを覚えています。



スピーチを披露するショーンさん

父がドライブの時、車の中で大音量の音楽をかけていたことを覚えています。父がかける音楽に合わせて、妹と一緒に歌うことが好きでした。父は私が音楽に興味を持っていることに気づきました。そのため、九歳の時、父が使っていたソニーのラジカセをゆずってもらいました。父がラジオで、流れている、音楽を録音して自分専用のテープの作り方を教えてくださいました。とてもかっこいいと思いました。宿題をしている間や、片付けをしている間、そして寝る前にもいつでもそのテープを聴きました。

小学校で、中国の楽器について学びました。それが初めて東洋の音楽に出会ったきっかけでした。本当に興味深かったです。

中学校で友達みんなロックを聞いていました。

私は音楽が好きな友達と仲良くなりました。

イギリスでは、中学校で音楽は必須科目ではありません。そのため中学校の選択授業で、音楽を勉強しました。授業の中で、アンサンブルを演奏する必要がありました。私はピアノを演奏したかったのですが、私の友達もピアノを弾きたがっていませんでした。だから、私はドラムを叩くことにしました。

ドラムに恋をしました。他の人と一緒に音楽を演奏するのは、初めての経験でした。ドラムを演奏するのは難しいと想像していましたが、いつもドラムの奏でる音は素晴らしいと思っていました。そして、友達と組んだバンドで、ドラムを始めました。

私がドラムを演奏することが好きなのは、どんなスタイルの音楽でも演奏できるということです。リズムがあればそれに合わせてドラムを叩くことができます。

高校で、音楽と音楽を作る技術の両方を学びました。高校時代に、自分の音楽をプロデュースし始めました。

卒業後、大学時代に作曲した音楽がナイトクラブで成功しました。

卒業する夏に、友達とイギリスで一番有名なグラストンベリーフェスティバルに行きました。グラストンベリーはとても良かったので、DJになって、もっと音楽祭に行きたいと思いました。

それで、DJを始めることにしました。この間、私は自分の音楽を作り続けました。

2012年、スティービー・ワンダーのライブを見ました。彼は私の音楽ヒーローです。

2013年、音楽制作コンペで優勝してクロアチアのボートパーティーでDJをしました。その後すぐに、音楽を教える勉強をすることにしました。

『スクールオブロック』という映画を見た人はいいますか？私の仕事はジャック・ブラックになることでした。ジャック・ブラックはこの映画の主演で、バンドリーダー役でした。

私が勤めていた会社はロックステディーといえます。私は幼稚園児から小学生までの生徒を教えるバンドリーダーでした。一週間に、九つの違う学校

に教えに行かなければなりませんでした。ロックステディーで働いている間に、ギターが弾けるようになりました。

2016年に、初めて日本にきました。聞いたジャズの量が多いのに驚きました。イギリスでは、レストランやお店で、ジャズは流れていません。

武蔵野FMという、ラジオ局を見つめました。インターネットのおかげで、イギリスに戻った時はずっと聞いていました。武蔵野FMを通して、ブラジルの音楽に出会いました。

日本に来てから、音楽に関係するイベントに参加しています。例えば、妻がフジロックフェスティバルに連れて行ってくれました。会場が綺麗に保たれていることに驚きました。グラストンベリーでは、その場所はたった1日でゴミ捨て場のように見えました。

妻が藤井風という音楽アーティストの曲を見せてくれました。彼の大ファンになりました。

妻と一緒に尺八のワークショップに参加しました。私は尺八を吹くことができませんでしたが、妻は上手でした。

先月、私たちは府中ジャズフェスティバルに行きました。三鷹でエコボトルを使った演奏会にも行きました。今月の初めに武蔵野プレイスでドラムサークルに参加しました。

将来は、日本でドラムを教えたいです。自分のドラムワークショップを始めたいと思っています。府中でジャズバンドを組んで、府中ジャズフェスティバルにも出演したいです。私はまだ知らない音楽を発見したいです。日本の伝統音楽についても、もっと知りたいです。

私は音楽は世界共通の言語だと考えています。音楽を通じてお互いを知ることができると思っています。



以上が私が音楽を愛する理由です。ありがとうございました。

武蔵野プレイスで西アフリカの楽器ジョンベを叩くジョンさん

## 「私のふるさと カナダからのメッセージ」

シュナイダライト レベッカ アイリーン (カナダ)

こんにちは、みなさん。金曜日午後クラスのレベッカです。

私は、今日、自分のふるさとについておはなししたかったのですが、帰国することが決まり、出席できなくなりました。

クリスマス、ふるさと、カナダで過ごせてうれしいですが、この場にいることができないのは悲しいです。

金曜日の日本語クラスの思い出は沢山あります。すばらしい先生、そして色々な国の人たちと出会うことができました。

先生たちや生徒たちが旅行に行き、おみやげを持ってきてくれたことが、ときどきありました。

もし私が帰国した後、おみやげをクラスに持ってくる人がいたら、私のために1つ取っておいて下さい。

私はここに帰ってきてそれをもらいます！これは冗談です。😊

今日お話をする人たち、がんばって下さい。日本語で話すのは時々すごく大変ですが、みなさんなら大丈夫です。

カナダからみなさんの幸運を祈っています。





## 私のふるさと ~44~

### 「知られざる北海道」

月曜午前・金曜夜ボランティア 桑島 宗利

#### ■移民の国？北海道 ← 北加伊道

北海道の地名は、幕末の探検家松浦武四郎が考案した地名案がもとになっています。1869年、蝦夷地（和人にとっての異民族の土地）という名称を変えようとしたとき、松浦武四郎が古典やアイヌ語などから考え出した案が底案になりました。

以下朝日新聞「ことばの広場2018. 7. 04」

「先住民のアイヌの人々はお互い『カイノー』と呼んでいました。松浦はアイヌの長老から、『カイ』はこの土地に生まれた者、『ノー』は尊称であると聞き、また、熱田神宮の歴史を記した『参考熱田大神縁起』には『東国で暮らす人々は自らの国を加伊と呼ぶ』とあったので、北加伊道こそ、この大地にふさわしいと考えたのです。」以上引用。

実際には発音は同じですが語源は消されました。先住民のアイヌは法律で「旧土人」と呼ばれることになりました。この名称は「旧土人保護法」が1997年に廃止されるまで存続しました。

#### ■三重団体…一方移民の国?!

30年前、旭川の東にある丸瀬布という町にキャンプに行った際、森林帯の中に「三重団体」というバス停を見つけました。1917年(大正6年)に三重県の人たちが集団で入植し原野を開拓した集落のバス停でした。札幌(石狩平野)の北方には新十津川という町があります。1889年に奈良県十津川村からの入植者が作り上げた町です。

九州出身の友人が北海道地図を見て「札幌の周りの地名は久留米回りとおんなじだ」とびっくりしていたことがあります。ちなみに私の母方の先祖は登別温泉に入植し温泉町を作った多摩の農民集団の一員です。玉川上水を作った玉川兄弟の弟の子孫だそうです。

#### ■ルーツ：ことば

3. 11震災ボランティアで岩手に行きつきました。イントネーションが小樽と同じです(遠野あたり)。北海道はいわゆる東北弁ではなく、言葉は東京弁と同じですがイントネーションが全然違います。北海道人同士では敬語表現をあまり使いません。いま全国に蔓延している「ら抜き言葉」は北海道では昔からの用法でした。

#### ■人種・多文化共生

1997年にアイヌ初の国会議員萱野茂さんの提唱で旧土人保護法が廃止されるまで北海道には同化教育しかありませんでした。アイヌ語教育とアイヌ文化理解運動は萱野さんたちの運動で始まっています。2019年にやっと「アイヌ民族支援法」(アイヌ新法)が出来てアイヌの人びとが日本列島北部の先住民であるとの認識を示されました。そして、国や自治体がアイヌとの多文化共生社会を実現するための責務を負うことが明記されました。

最後に私の街 小樽市：地名はアイヌ語が語源です。小石の多い川の意味。小中高生の冬の体育はスキーです。節句にはべこ餅というものを食べます。柏餅は上京して初めて食べました。七夕は8月です。子供達はこんな歌を唄いながら提灯下げて隣近所の家を訪ねてろうそくやお菓子をもらいます。その歌は最後の部分に特徴があります。「たなばたさま」の1番の歌詞を歌った後に「ローソク出一せー 出一せーよー 出一せーないとー かっちゃんぞー (引っ掻くぞの意味) おーまーけーにー 噛みつくぞー」と大きな声で唄うのです。



三重団体入植一周年記念集合写真  
(大正7年11月28日)

みな がくしゅうしゃしょうかい  
皆さんよろしく◇学習者紹介

ちよう ぎよくふん たいわん  
張 玉芬さん (台湾)



りよう だいす  
「旅行が大好きです」

たいわん たいちゆう から、こんかい は2021年 5月に来日しました。2016年に結婚して、ご主人の勤務先の日本に2020年 5月まで滞在していました。

その間、吉祥寺の日本語学校に1年間通っていましたが、長女を妊娠したので、休み休みの勉強でした。台湾は近いので、長女も次女も台湾で産み、今回は二人のお嬢さんを連れての再来日でした。

今は専業主婦で、幼稚園と保育園の送り迎えをしています。日本語が上達したら、何か仕事をしたいと思っています。

サロンには昨年の11月から勉強に来ています。日本語学校との差は、先生と1対1なので、会話を勉強できることで、とても楽しく勉強しているとのことです。

性格も活発で、外交的だとのことで、趣味はアウトドアのスポーツ、山登り、ジョギング、キャンプ、バドミントン、旅行などです。

19年間旅行会社にお勤めの経験があり、今までに行ったのは、内モンゴル、スリランカ、タイ、マレーシア、パラオ、インドネシア、フィリピン、韓国、中国、ドイツ、フランスと数えきれないほどだそうです。

将来は、家族みんなが健康で、楽しく暮らせることだそうですので、お子さんたちと一緒に旅行を楽しまれることでしょう。(取材・文構成 堤 林)

しん  
新ボラさん こんにちば

なかよ たの べんきよう  
「仲良く楽しく勉強しましょう」

きんよう ごご ともい かずひこ  
金曜午後ボランティア 桃井 和彦

9月から金曜午後の学習会に参加している桃井と申します。

縁あって、日本の、しかも府中市に来てくださった皆さんに何か手助けがしたくて参加させていただきました。

私は米国勤務経験(5年)と外国人留学生寮の管理人経験(7年)があります。日本語学習会ではそうした経験も生かしたいと思えます。

不慣れた私ですが、学習者の方々と仲良く楽しく勉強して行きたいと思えます。どうかよろしく願います。

ところで私は、年に50冊の読書、50本の映画鑑賞、そして1回の海外旅行を毎年の目標にしています。でも残念ながらこれまでは目標をパーフェクトに達成したことはありません。読書目標を達成しても映画目標を達成出来なかったり、最近ではコロナの影響で海外旅行が出来なかったりしたからです。でもここ一、二年の間にはなんとか目標のパーフェクト達成を実現させたいと思っています。



## 「いつか恩返しがしたい…」

きんようごご たらおか なつこ  
金曜午後ボランティア 寺岡 奈津子

だいがくそつぎょうご いちねん よてい りゅうがく ちゅうごく  
大学卒業後、一年の予定で留学した中国でしたが、留学途中で大学院進学を決め、結局みっちり三年間、遼寧省の大連市で過ごしました。母国語ではない言葉話し、難解な文字を読み、文化の違いや生活習慣の違いに戸惑いながら、それでも現地ですべての方に助けられ、いつか自分も恩返しがしたいと思ってきましたが、帰国後は毎日が忙しく、あっという間に20年近く時間が過ぎていました。

2016年に行政書士事務所を府中市で開業し、家庭と仕事の両立もなんとかこなせる程度には慣れたなど思えたのが2020年のことです。在留資格申請の

仕事は毎日のように外国の方と会って話す機会があります。ですが、申請時に初めて発覚する問題点も多く、日頃から仕事を抜きにしてコミュニケーションをとる機会があればなあと新たな課題にぶつか

っていたとき、ボランティア養成講座の存在を知りました。

去年は申し込んだものの、コロナで受講延期になってしまいましたが、9月から新ボランティアとしてスタートしました。仕事とはまた違った形で外国の方と関わることがうれしく、他のボランティアさんにアイデアを教えていただいたり、とても充実しています。これからもよろしくお願いいいたします。



## 「日本語教授法研修Ⅱが終わりました」

けんしゅうぶかい ぶかいちり こすぎ えいこ  
研修部会会長 小杉 英子

9月15日から11月10日（除11月3日）まで山田しげみ先生8回16時間、中村則子先生「音声」、生活情報支援部会「在留資格の基礎知識」各2時間・計20時間にわたる日本語教授法研修初級Ⅱが終わりました。受講者は17名、全員が7割以上参加で最終日に受講証明書を手に入れることができました。

9月からボランティア活動を始めた15名の方は前期にもまして研修に意欲が見られ、質問も多かったように思います。前期終了後のアンケートに答えて、先生に1週先までのハンドアウトを用意していただきました。席のグループ分けは活動学習部会ごととし、これはチームワークに思った以上の効果がありました。教材は『みんなの日本語』初級Ⅱの26課から50課まで。初日は研修Ⅰの復習（間違えやすい文法等）をしました。『みんなの日本語』初級Ⅱの練習問題以外に『書いて覚える文型練習』も数多くできたように思います。

最終日のロールプレーは各5グループがそれぞれ敬語使用を含む内容で場面を設定し、グループ内の一人が出すキーワードを参考に会話の文章を作成、10分程度の発表をしました。

- ① ブティックで友人と買い物
- ② 恩師の米寿のお祝い
- ③ 急病で会社を休む
- ④ プロジェクト完了のお礼
- ⑤ 高尾山ハイキング

場面設定に苦労があったと思いますが、それぞれの工夫があり感慨深く見ました。

意欲的な今年度の研修生の皆さん、これからも沢山の学習者のために元気に活動をしてください。



# 勉強会報告 ~102~

## 「柏崎雅世先生を囲んで」

研修部会 萱生 由美子

昨年、12月3日(土)午後2時より、長年サロンで我々ボランティアに日本語の教え方を指導して下さった柏崎先生を久しぶりにお迎えして、先生の近況や現在のお仕事、日本語指導のポイント等についてお話を伺いました。参加者は13名でした。

### <サロンと柏崎先生>

2015年から3年間「日本語教授法研修 I・II」を担当。2018年は現ボランティア向け「スキルアップ講習会(3回)」他、講演会、勉強会と多岐にわたるご指導をいただく。

### <先生の近況>

東京外大の先輩、姫野先生がお亡くなりになったため、複合動詞についての辞書編纂のお仕事を引き継ぐ。来春、上梓の予定。

### <複合動詞の一部を紹介>

I. 複合動詞とは、二つあるいは三つの動詞が結合したもので、前の動詞(前項動詞)の連用形(ます形)に、次の動詞(後項動詞)が接続する。

例：押しあげる

II. 複合動詞は学習者にとって難しい

基本的には、二つの動詞の意味を合わせた意味になるものが多い。しかし・・・

① 同じ後項動詞でも意味が多岐にわたる

例：～込む

入り込む→中に入ってそこに止まる

冷え込む→程度を表す

走り込む→くり返して準備する

② 形の規則性が多岐にわたる(自他動詞の規則性が難しい)

③ 古語由来の語が結構ある

「しそびれる」「見初める」—現代では「そびれる」「初める」は独立して使わない

④ 音便形が多い

「引く」：ひっこす(←引き越す)、ひっこ

む、ひっばる、ひっこぬく、ひっぺがす

⑤ 新しい用法の出現

見切れる、焼きつく、折り返す、など本来は誤りとされていた用法が現在は使われている。

※複合動詞は①～⑤の理由で規則性ではなかなか説明できないので、個別の語彙で学習者に理解させる。

### <話し合い・Q&A>

- Q 言葉の説明が上手くできない。  
A 辞書で説明するより例文で示すことが大事。いくつかの例文を示すことで、その言葉の概念がわかる。
- Q 「て形」はどうやったら学習者が覚えられるのか。  
A1 「て形」は『みんなの日本語』14課に出てくるので、1～14課までの動詞を整理して覚えさせる。  
A2 1～14課までの動詞を一覧表にして、「ます形」「て形」を並べて声に出して読ませ、音で覚えさせる。

### <先生のコメント>

- サロンの学習者は日本語でコミュニケーションが取れるようになりたいと思っっているはずなので、どんなにつたない会話でも、「話す」「聞く」を大切に。
- 時代によって言葉は変わるもの。「ら抜き言葉」は定着しつつある。
- 『みんなの日本語』初級Iの旧版「2課」の会話に、サントスさんの「ほんの気持ちです」という言葉があった。これは日本文化の謙遜の気持ちの押し付けではないか、という理由で新版では失くなっている。時代の変化だと思いが、個人的には少し寂しい気がする。

どんな質問に対しても“いい質問ですね～”と受け入れて的確なアドバイスを下さる柏崎先生。これからもサロンの良きアドバイザーでいらしてください。

(編集部注：柏崎先生が執筆されている『複合動詞活用辞典』は、研究社より4月に出版予定です。)

# ことばの由来

## 「卵と玉子、さてどっち？」

700年前の1322年、修道士が氾濫した川の対岸に卵を投げて支給したことがきっかけで、毎年、世界卵投げ選手権が開催されています（イギリス）。

700年前の日本は、鎌倉時代ですが仏教の影響で、卵は食べなかったようです。卵を料理して食べるようになったのは江戸時代からだそうです。

この「たまご」の漢字に「卵」と「玉子」があるのは、なぜでしょうか？

まずは、漢字の語源から。「卵」は、虫やカエルの卵が茎か枝を中心に周りに連なったようすが表現された象形文字の説があります。漢字の2つの「丶」は卵の目？でしょうか？

次に漢字の「玉子」は、形が球状であることから「玉の子」で、「たまご」と呼ばれるようになったようです。

では、「卵」と「玉子」の違いですが、一般的に、生物学上では「卵」と表記し、調理されたものや食材に使用するたまごは「玉子」を用いています。ただし、魚類など鳥類以外のたまごは調理済みであっても「玉子」と表記しませんが、鶏のたまごは食材に使用されると調理の有無に関係なく「玉子」と表記されることもあります。また、「ゆで玉子」と「ゆで卵」、「玉子焼き」と「卵焼き」のように、調理済みのたまごであっても「卵」と書かれることもありますので、明確な基準とまではいかないようです。

そういえば、鶏の卵の形は、一方が尖った形をしています。この理由は、転がって割れてしまわないようになっているからとのこと。 (某テレビ番組のチョコちゃんに叱られるより)

医学を勉強する人を医者卵といいますが (医者の玉子とは書かない)、サロンの学習者は、日本語話者や日本語通訳者の卵と言えるかもしれません。一日でも早く卵から孵化するように共に成長していきましょう。 (編集部 末田)

# みんなの広場

## 「新年サロン交流会のお知らせ」

今年4月から活動の場がフチュールに移りますが、サロンの新たなスタートを控え、ボランティアと学習者の皆さんの一層の交流を語る「新年サロン交流会」を開催します。是非、ご参加ください。

■日時：1月21日（土）午後1時受付  
1時半開始（4時終了予定）

■場所：サロン学習室

■対象：学習者とボランティア（参加費無料）

第1部：学習者自己紹介

第2部：大じゃんけん大会

たくさんの景品を用意しています。

\*参加される方は、事務局にある申込み受付簿に名前を記入してください。 (編集部)

## ～編集後記～

いつも『くろすろ〜ど』にご協力くださっているみなさま、ありがとうございます。

SNSが広まって20年。毎日世界は、発信された文字であふれています。書くことが大好きな人がこんなにいるとは、うれしい驚きです。

Twitter社の調査によると、日本語は少ない文字数で多くの情報を伝えられるそうです。みなさまのちよとしたつぶやきも、読む人を楽しませます。ぜひお気軽にここで発信してください。 (岩城)

【創刊】 1997年 11月

【編集】 編集長：和田泰弘

【事務局】 会報部会：堤林・和田・岩城・末田

電話：042-352-4178

E-mail：[mail@fuchukokusai.gr.jp](mailto:mail@fuchukokusai.gr.jp)

サロンHP：

<http://www.fuchukokusai.gr.jp>

